

※個々の施設毎に作成

別添の別紙(個票)

個別施設整理番号	1	林道台帳索引番号	9	施設管理者	九戸村
路線名	糠渡線	林道種類及び区分	自動車道2級	橋梁名	高清水橋
施設の所在地	九戸村戸田	起点からの距離	0.0km	建設年度	1972
供用年数	49	種別	鋼橋	型式	鋼桁橋
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	不明	橋下条件	瀬月内川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	24.00m(不明)		幅員(車道幅員)	4.8m(4.0m)
	施設の構造等	上部工型式	鋼H桁			
			鋼製(使用鋼材)	主桁、横桁、支承	塗装使用の有無	有
			支承形式	金属支承	落橋防止の有無	無
		橋台工型式	逆T式橋台		基礎形式	直接基礎
	橋脚工型式	—		海岸からの距離	—	
	施設の目的利用実態等	当該林道は災害時等の迂回路や近隣地域を結ぶ生活道としての機能を有している。				
施設の状態等の概要	点検診断日	令和1年11月11日				
	調査結果	異常なし				
	健全性の診断結果	I (予防保全段階)	異常なし			
	劣化原因	-				
長寿命化計画の内容	計画期間	令和3年度～令和12年度				
	内容	定期点検を行う。				
	実施予定時期	令和6年度				
	施設の優先度	中	(優先度の考え方) 主要構造物の損傷がないため、優先度は「中」とした。			
	対策費用(概算)	—				
管理方法	管理方法	長寿命化対策として、5年に1回の定期点検を行い、路肩及び排水施設の清掃等維持作業を適切に行う。				

	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年	令和12年
対策費用（百万円）				0.30						
対策の内容・実施時期				定期点検					定期点検	

備 考

個別施設整理番号	2	林道台帳索引番号	21	施設管理者	九戸村
路線名	折爪岳線	林道種類及び区分	自動車道2級	橋梁名	深沢橋
施設の所在地	九戸村江刺家	起点からの距離	—	建設年度	1996
供用年数	25	種別	鋼橋	型式	鋼桁橋
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	20t	橋下条件	深沢

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	38.00m(不明)		幅員(車道幅員)	7.2m(6.0m)
	施設の構造等	上部工型式	鋼H桁			
			鋼製(使用鋼材)	主桁、横桁、支承	塗装使用の有無	無
			支承形式	金属支承	落橋防止の有無	無
		橋台工型式	逆T式橋台		基礎形式	直接基礎
	橋脚工型式	—		海岸からの距離	—	
施設の目的利用実態等	当該林道は災害時等の迂回路や近隣地域を結ぶ生活道としての機能を有しているとともに、地域住民以外の利用も見られる。					
施設の状態等の概要	点検診断日	令和1年11月11日				
	調査結果	異常なし				
	健全性の診断結果	Ⅱ (予防保全段階)	橋梁の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態。			
	劣化原因	-				
長寿命化計画の内容	計画期間	令和3年度～令和12年度				
	内容	定期点検を行う。				
	実施予定時期	令和6年度				
	施設の優先度	中	(優先度の考え方) 主要構造物の損傷がないため、優先度は「中」とした。			
	対策費用(概算)	—				
管理方法	長寿命化対策として、5年に1回の定期点検を行い、路肩及び排水施設の清掃等維持作業を適切に行う。					

	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年	令和12年
対策費用(百万円)				0.30						
対策の内容・実施時期				定期点検					定期点検	

備 考

※個々の施設毎に作成

別添の別紙(個票)

個別施設整理番号	3	林道台帳索引番号	25	施設管理者	九戸村
路線名	下雪屋中沢線	林道種類及び区分	自動車道2級	橋梁名	第二下雪屋橋
施設の所在地	九戸村雪屋	起点からの距離	—	建設年度	2003
供用年数	18	種別	PC橋	型式	コンクリート床板橋
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	不明	橋下条件	雪谷川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	12.50m(不明)		幅員(車道幅員)	5.2m(4.0m)
	施設の構造等	上部工型式	コンクリート床版			
			鋼製(使用鋼材)	—	塗装使用の有無	無
		支承形式	ゴム支承	落橋防止の有無	無	
		橋台工型式	逆T式橋台		基礎形式	直接基礎
	橋脚工型式	—		海岸からの距離	—	
施設の目的利用実態等	当該林道は災害時等の迂回路や雪屋地区と軽米町宮沢地区を結ぶ生活道としての機能を有している。					
施設の状態等の概要	点検診断日	令和1年11月11日				
	調査結果	舗装面の損傷及び路肩の土砂堆積について、主要構造物への影響が懸念されるため、路面補修及び土砂撤去を行う必要がある。				
	健全性の診断結果	Ⅱ (予防保全段階)	橋梁の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態。			
	劣化原因	舗装面の損傷は、路肩の土砂堆積により排水孔が塞がれ、行き場が無くなった水が舗装の隙間から内部に侵入したものと考えられる。				
長寿命化計画の内容	計画期間	令和3年度～令和12年度				
	内容	路面補修(アスファルト舗設)を行う。 ※常温合材による穴埋めを行うだけでなく、舗装面下の床板の状況も併せて確認する必要がある。				
	実施予定時期	令和6年度				
	施設の優先度	中	(優先度の考え方) 主要構造物の損傷がないため、優先度は「中」とした。			
	対策費用(概算)	橋面補修工 15千円				
管理方法	長寿命化対策として、5年に1回の定期点検を行い、路肩及び排水施設の清掃等維持作業を適切に行う。					

	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年	令和12年
対策費用(百万円)				0.10						
対策の内容・実施時期				定期点検					定期点検	

備 考